

整理番号 2018M-009
補助事業名 平成30年度 ICT社会における安全・安心確保に関する補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本教育情報化振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

教育現場のICT安全安心対策研究実施のため2つのWGを設け、「情報モラル指導充実のためのWG」「コミュニケーション力育成WG」を二本柱として活動する。

1. 情報モラル指導充実のためのWG

- ・ 専門家、有識者11名からなる委員会の設置
- ・ 教育委員会等の要望に添った情報モラルセミナーの開催、研修テキストの作成実施
- ・ 新学習指導要領に合わせた新規開発教材作成

2. コミュニケーション力育成WG

- ・ 専門家、有識者11名からなる委員会の設置
- ・ コミュニケーション力育成のための研修は、次の3つの形式で開催する。
 - 全国7ヶ所において会場を選定し、委員5名程度を派遣しワークショップ形式で研修を開催
 - 研修は開催会場の近隣の教育委員会から教員に招集をかけ参加を募集

(2) 実施内容

教育現場のICT安全安心対策検討委員会にそれぞれのワーキンググループ長を委員とした委員会を置き、そこに下記の2つのワーキンググループを設置し、それぞれの研究方法によりICTの安全安心活用について研究を実施している。

① 「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー事業

(<http://www.japet.or.jp/ActivityReport/netwalk/>)

地域の指導的な立場の教員に対し情報モラルが指導できるよう指導者育成を実施。主に情報モラルやセキュリティに関するセミナーを実施できる指導者を養成している。その指導教材としてセミナーで使用した教材・情報を提供している。さらに、家庭等でも「情報モラル」が親子のコミュニケーションの題材となるような新たな事例への対応を盛り込んだコンテンツ情報等の提供を行っている。

ネット社会の歩き方教材 (<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)



以下は、情報モラルセミナー風景。



熊本市教育センター（平成30年6月5日）



東近江市教育委員会（平成30年6月12日）



和歌山県教育センター（平成30年6月29日）



埼玉県消費生活支援センター（平成30年7月23日）



足立区教育委員会（平成30年10月29日）



教育の情報化推進フォーラム
（平成31年3月8日）

②コミュニケーション力育成のための事業

(<http://www.japet.or.jp/Case/21ccom/>)

子供同士でのコミュニケーション不足等が原因で起こるいじめを減らすために、集団の中で共に話し合い、学び合い、助け合うためのコミュニケーション力を育成し、その重要性を自覚させる。

そのために、これからの「ICT社会におけるコミュニケーション力の育成」を、学習活動の中にもどのように取り込んでいくか、その取組を支援するセミナーを企画し、全国で実施した。今年度は、全国7地域（大阪、徳之島、神奈川、金沢、広島、札幌、東京）で開催した。



徳之島セミナー(平成30年8月29日)



札幌セミナー(平成31年3月2日)

2 予想される事業実施効果

昨今のスマートフォンや携帯のゲーム機、音楽プレイヤー、ウェアブル端末等の普及により、いつでもどこでもインターネットを利用できる環境が、子供達にまで急速に拡大した。この急激な変化により、児童・生徒がSNSや無料ゲームなどのコミュニティサイトで犯罪などに巻き込まれる事例も発生している。また、ネット上で子供達同士が誹謗中傷の発信を行うなど、コミュニケーション不足からのいじめが行われている。

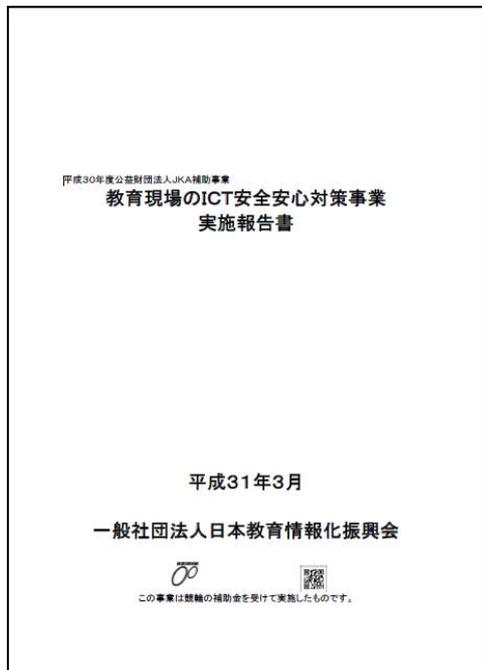
日本教育情報化振興会では、児童・生徒の安全安心を願い「教育現場のICT安全安心対策事業」を展開している、この活動は広く公開されているため、教育界だけではなく、保護者への啓発としても有効であり、地域、家庭での安心安全への意識を高めることができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書

(<https://www.japet.or.jp/ActivityReport/>)



教育現場のICT安全安心対策事業 実施報告書

教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書 目次

目次	
第1章 情報モラル指導実践のための事業	1
1. 事業の目的	1
2. 作業項目とスケジュール/作業体制	2
3. セミナー開催	6
4. 成果発表会	21
5. 今年度作成したコンテンツの概要	40
6. ペーパーワーク教材の使い方	42
7. まとめ	45
第2章 コミュニケーション力育成のための事業	46
1. 事業の目的	47
2. 作業項目とスケジュール/作業体制	48
3. セミナー開催	50
4. 学習教材開発	61
5. セミナー内容普及度使用パンフレット制作	71
6. 成果発表会	79
6. まとめ	80

② ネット社会の歩き方情報モラル教材

平成30年度新規開発した教材概要は次の通り

● 新規学習ユニット1 1テーマ

アニメーションで様々な事象を確認しながら、情報モラルについて学習できるようになっている。

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)

01) 【幼児】 タブレットやスマートフォンってどんなもの？

→ タブレットやスマートフォンの役立て方を知り、
注意点を考える



02) 【小・道徳】 おたがいさま

→ 間違った情報を教え、友人を怒らせたが、そのあと
友人からの間違った情報で失敗した



03) 【小中】 ネットゲームにのめり込むと

→ スマートフォンのオンラインゲームにのめり込み
廃人のようになってしまう



04) 【中高】 ネットにマンガをアップロードしたら

→ マンガ雑誌をスキャンして友人に配ったところ、
摘発の対象となった



05) 【中高】 SNS投稿は肖像権に気をつけて

→ SNSに親子の写真を無断で投稿したら、その母親
から子どもを危険にさらしたと叱られた



06) 【中高】 著作権フリーでも利用に注意

→ 著作権フリーのイラストを用いてグッズを作ったが、
商品化は許諾されていない



07) 【中高】 コミュニケーションのすれ違い

→ 体調が悪く、欠席を心配した友人のメッセージを
無視したら、登校した時相手から無視された



- 08) 【中高】安く買えて得したと思ったに
 [ネットオークションでの購入]
 →オークションサイトでゲームを安く落札したが、
 個人間取引に誘導され、雲隠れされた



- 09) 【中高】期限が切れたライブチケット
 [ネットオークションでの販売]
 →ライブチケットをオークションサイトに出したが、
 落札者から入金がなく、失効してしまった



- 10) 【中高】欲しかったのはコレじゃない
 [フリーマーケットでの購入]
 →フリーマーケットサイトにて破格値で購入した
 電子機器は店頭展示用の模型だった



- 11) 【中高】何でも売れるから出品しよう
 [フリーマーケットでの販売]
 →フリーマーケットサイトで空き缶オブジェを
 販売したが、虫が湧いて購入者から怒られた



- ネットショッピング・シミュレーター
 スタンダードな環境で動作する
 シミュレーション教材。
 ネットショッピング・シミュレーター
 では、8つのネットショッピン
 グサイトを体験しながら不適切な
 商店を見分けるポイントなど留意
 点を学べる。

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/simulation/index.html>)



●SNSシミュレーター

スタンダード環境で動作するシミュレーション教材。

SMSシミュレーターでは、文章を入力してやり取りを行いながら、SMSで発生するコミュニケーションのトラブルを体験できます。

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/simulation/index.html>)



●電子版ペープサート教材

プレゼンテーションソフトなどを用いて、キャラクターの表情やボディ、背景を組み合わせることでストーリーを制作できる教材。

児童生徒が自ら「ネット社会の歩き方」に関する道徳教材を制作することにより、「主体的・対話的で深い学び」の題材として効果的なロールプレイ型の授業を行なうことができる。新学習指導要領において教科化された「道徳科」で、情婦モラル等をテーマとした道徳教育の展開に活用できる。



(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/illust/index.html>)

●モロコミ通信 ～保護者向けの情報モラル啓発ちらし(コミック)～

保護者に配付することを想定した情報モラル啓発用のチラシ。

児童間のトラブル等の背景に、保護者間での情報トラブルに関するトラブルが散見されることから、学校から保護者に対して情報モラルに関する情報を提供することにより、ICTの慎重な取り扱いを促すことで、家庭教育に役立てていただくものである。

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/booklet/index.html>)



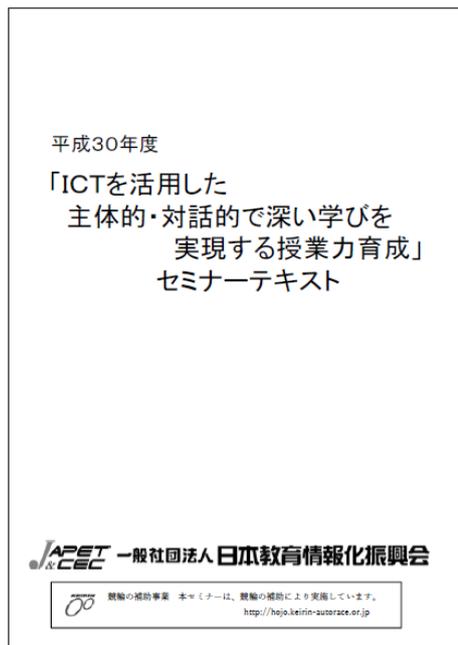
③ネット社会の歩き方情報モラルセミナーテキスト
(冊子教材ダウンロードサイト)



(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/booklet/index.html>)

④コミュニケーション力育成セミナーテキスト

(<https://www.japet.or.jp/Case/comm2018/>)



目次

- 概要説明 2
- タブレット端末活用 研修 8
- マッピング活用 研修 22
- ホワイトボード活用 研修
(基本編) 36
- マトリクス活用 研修
(ホワイトボード活用シリーズ) 59
- ピラミッドチャート活用 研修
(ホワイトボード活用シリーズ) 68

⑤コミュニケーション力育成セミナー紹介パンフレット

(<https://www.japet.or.jp/Case/comm2018/>)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人日本教育情報化振興会
(イッパンシャダンホウジンニホンキョウイクジョウホウカシンコウカイ)

住 所 : 〒107-0052
東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 8階

代 表 者 : 会長 赤堀 侃司 (アカホリ カンジ)

担当部署 : 調査・研究開発部 (チョウサケンキュウカイハツブ)

担当者名 : 部長 吉田 真和 (ヨシダ マサカズ)

電話番号 : 03-5575-5365

F A X : 03-5575-5366

E-mail : myoshida@japet.or.jp

U R L : <https://www.japet.or.jp/>